

令和5年度第2回学校運営協議会議事録

鹿児島市立清水中学校

1 日時
令和5年7月11日（火） 10:00 ～ 11:30

2 場所
本校校長室

3 出席者

運営協議会委員	【出席】 9名 【欠席】 1名
学 校	校長，教頭，教務主任，生徒指導主任

4 日程

- (1) 開会のことば
- (2) 校内施設見学及び授業参観
- (3) 会長あいさつ
- (4) 校長あいさつ
- (5) 協議
 - ア 1学期の活動から
 - イ 各主任から
 - ウ 意見交換・質疑応答
 - エ その他
- (6) 閉会のことば

5 協議の内容や意見等

- (1) 1学期の活動から
 - ・ リサイクル活動の収益について
→ コロナ禍前の活動にしていくには、もう少し時間が掛かる。できることを少しずつやっていくことが必要である。収益については、市からの補助がないと厳しい状況である。
 - ・ 標準学力検査の結果について
→ 学校としての実態についての分析については、現在進行形で進めているところである。本校の生徒にどのように力を付けていかなければならないのか検討・分析し、実践していく。
 - ・ 合唱祭について
→ 1学期の大きな行事の一つである。合唱を通して、学級のつながりが見られる。学校での実施の予定であったが暑さ対策や保護者の観覧等を考慮し、急遽、宝山ホールでの実施とした。予定よりも練習期間が短くなったが、限られた時間の中で練習し、それぞれの学級がその成果を見せてくれた。
- (2) 校内施設見学及び授業参観について
 - ・ 子どもの真剣なまなざしが見られた。また、ICT機器の活用もなされており、授業が充実していると感じた。逆に、ICT機器の活用により先生方の大変さも増えたのではないか。
 - ・ 靴箱の整理がよくなされていた。
 - ・ 支援を必要とする子どもが増加している中で、保護者に学校の現状を理解していただき、実態を語っていく必要があると感じている。
- (3) その他
 - ・ 登校支援をしているが、女の子のあいさつがよくなってきている。
 - ・ 仲間意識の希薄化を感じる。仲間づくりの取組を学校でも推進してほしい。
 - ・ 若宮神社の6月灯は盛大に実施できた。来場していた中学生や小学生の態度もよく、時間になると素直に帰宅する姿が見られた。
 - ・ ある雨の日に、狭い道路を小中学生が並んで歩いて下校していたが、交通ルールを守り、小学生の安全に気を配りながら下校している中学生の姿に感心した。
 - ・ 学校長のリーダーシップのもと、働き方改革を推進してほしい。学校外の業務（校外補導等）については、意識改革が必要であり、やるべきものは工夫・改善していくことが必要である。また、臨時的任用の先生方の人材確保が難しくなっている現状があり、県や市と連携しながら人材の確保に努めてほしい。